

トラテック製 プロペラ軸アース装置 **トラース**

TREERUS

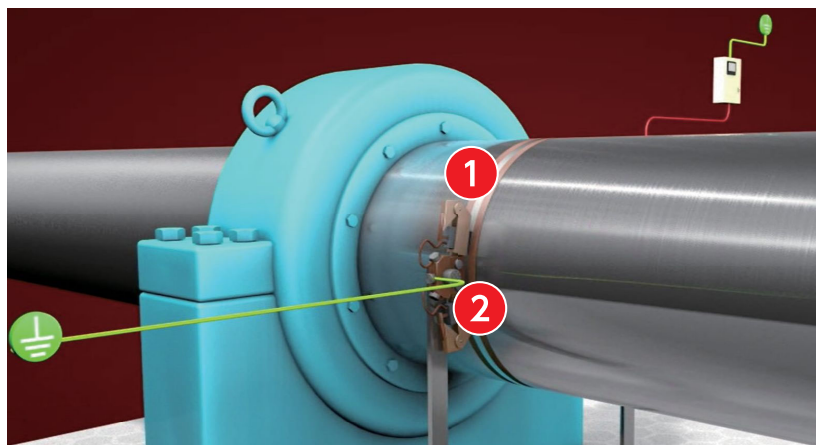
装置概要

船用推進器としてのプロペラ軸系は主機のクランク軸、中間軸、プロペラ軸及びプロペラが一体となり回転しており、海水の接触している船体外板と回転するプロペラ（非鉄金属）との間に大きな電位差が発生しております。この電位差が軸と軸受け間での電気スパークの原因となり、重要な機器における電蝕を引き起こす結果となります。

この現象はスパーク・エロージョンと呼ばれ、船のメンテナンスコストに大きな悪影響をもたらします。弊社の“トラース”はプロペラ軸系と船体をアースさせることにより電位差を最小限とすることで、スパーク・エロージョンの発生を防ぎます。

機器構成

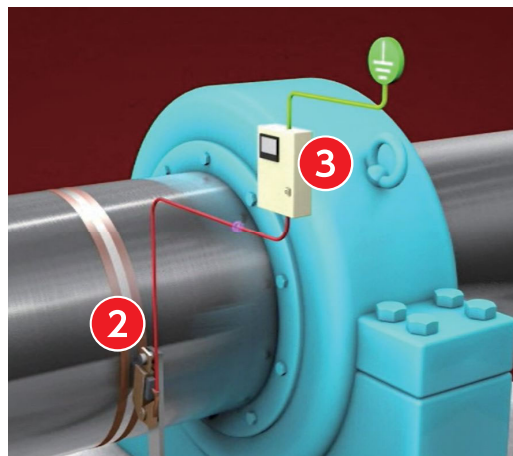
トラースは、銀合金バンド、銀黒鉛ブラシ及びホルダー、軸/船体電位差計、アースケーブルから構成されています。



- ① 銀合金バンド
- ② 銀黒鉛ブラシ及びホルダー
- ③ 軸/船体電位差計

※3D モデルはイメージです。

実際の仕様とは異なる場合がございます。





特長

- 構成部品に特別な配合を行った銀合金を使用することにより、高性能を実現
- 電位差計の設置により、アースの状況を電位差として視覚的に確認することが可能
(他社軸アース装置は電位差計が装備されていないものが主流)

組み合わせ		接触抵抗(10Amp時)	
スリップリング	ブラシ	電位差	抵抗値
鋼製	銅 - 黒鉛	200mV ~ 300mV	0.02Ω ~ 0.03Ω
銅合金	銅 - 黒鉛	100mV ~ 200mV	0.01Ω ~ 0.02Ω
銅合金	銀 - 黒鉛	100mV	0.01Ω
銀合金	銀 - 黒鉛	20mV	0.002Ω

参考情報：軸アース装置の一般的な組み合わせ *1

*1 日本舶用機関学会誌第18巻第2号"1. 軸系電位と防食にかかわる概説"より引用

※弊社の装置で使用している銀合金は特別な配合となっており、抵抗値は 0.001Ω 以下となっております。
(他社製軸アース装置と比較して最大30倍程度の性能を誇ります。)

実績

- 1990年より製品として販売を開始
- 2024年現在までに、2,500隻近くの船舶に搭載
- 商船だけでなく防衛省護衛艦、海上保安庁巡視船をはじめとした官庁船においても多数採用



MIKASA GROUP
トラテック株式会社
TRATEC LTD.

製造元 **トラテック株式会社**

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-14 KAMON ビル3F

TEL 03-6721-5620 FAX 03-6721-5621

Mail tokyo@mikasa-tratec.jp